

【表紙】

【提出書類】	半期報告書
【提出先】	関東財務局長 殿
【提出日】	2022年9月13日提出
【計算期間】	第15計算期間中 (自 2021年12月21日 至 2022年6月20日)
【ファンド名】	D C ダイワ・ターゲットイヤー2040
【発行者名】	大和アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	取締役社長 小松 幹太
【本店の所在の場所】	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
【事務連絡者氏名】	西脇 保宏
【連絡場所】	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
【電話番号】	03-5555-3431
【縦覧に供する場所】	該当ありません。

1 【ファンドの運用状況】

(1) 【投資状況】 (2022年6月30日現在)

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	258,355,027	99.80
内 日本	258,355,027	99.80
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	510,364	0.20
純資産総額	258,865,391	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(2) 【運用実績】

【純資産の推移】

	純資産総額 (分配落) (円)	純資産総額 (分配付) (円)	1口当たりの 純資産額 (分配落)(円)	1口当たりの 純資産額 (分配付)(円)
第5計算期間末 (2012年12月18日)	3,373,491	3,373,491	0.7645	0.7645
第6計算期間末 (2013年12月18日)	9,736,661	9,736,661	1.1001	1.1001
第7計算期間末 (2014年12月18日)	13,831,791	13,831,791	1.2972	1.2972
第8計算期間末 (2015年12月18日)	22,270,544	22,270,544	1.3817	1.3817
第9計算期間末 (2016年12月19日)	28,966,940	28,966,940	1.4141	1.4141
第10計算期間末 (2017年12月18日)	37,746,883	37,746,883	1.5802	1.5802
第11計算期間末 (2018年12月18日)	45,018,917	45,018,917	1.4875	1.4875
第12計算期間末 (2019年12月18日)	77,674,021	77,674,021	1.6805	1.6805
第13計算期間末 (2020年12月18日)	119,539,263	119,539,263	1.7292	1.7292

2021年6月末日	175,234,236	-	1.9318	-
7月末日	192,278,051	-	1.9285	-
8月末日	203,916,961	-	1.9597	-
9月末日	213,091,401	-	1.9707	-
10月末日	222,606,772	-	2.0074	-
11月末日	232,071,907	-	1.9713	-
第14計算期間末 (2021年12月20日)	238,841,582	238,841,582	1.9765	1.9765
12月末日	245,105,431	-	2.0247	-
2022年1月末日	230,391,040	-	1.9416	-
2月末日	230,270,278	-	1.9270	-
3月末日	244,935,046	-	2.0258	-
4月末日	252,318,111	-	1.9949	-
5月末日	257,290,215	-	1.9888	-
6月末日	258,865,391	-	1.9682	-

【分配の推移】

	1口当たり分配金(円)
第5計算期間	0.0000
第6計算期間	0.0000
第7計算期間	0.0000
第8計算期間	0.0000
第9計算期間	0.0000
第10計算期間	0.0000
第11計算期間	0.0000
第12計算期間	0.0000
第13計算期間	0.0000
第14計算期間	0.0000
2021年12月21日～ 2022年6月20日	-

【収益率の推移】

	収益率(%)
第5計算期間	21.5
第6計算期間	43.9
第7計算期間	17.9
第8計算期間	6.5
第9計算期間	2.3
第10計算期間	11.7

第11計算期間	5.9
第12計算期間	13.0
第13計算期間	2.9
第14計算期間	14.3
2021年12月21日～ 2022年6月20日	3.0

(参考) マザーファンド

トピックス・インデックス・マザーファンド

(1) 投資状況 (2022年6月30日現在)

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
株式	182,987,736,840	97.46
内 日本	182,987,736,840	97.46
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	4,771,475,122	2.54
純資産総額	187,759,211,962	100.00

その他の資産の投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
株価指数先物取引(買建)	4,713,660,000	2.51
内 日本	4,713,660,000	2.51

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(注3) 株価指数先物取引の時価については、原則として当該日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しています。このような時価が発表されていない場合には、当該日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しています。

外国株式インデックスマザーファンド

(1) 投資状況 (2022年6月30日現在)

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
株式	250,112,988,258	94.61
内 香港	2,432,713,758	0.92

内 シンガポール	1,009,019,942	0.38
内 イスラエル	594,034,765	0.22
内 ノルウェー	659,133,980	0.25
内 スウェーデン	2,637,264,210	1.00
内 デンマーク	2,152,176,454	0.81
内 イギリス	11,973,706,417	4.53
内 アイルランド	407,457,646	0.15
内 オランダ	3,068,951,594	1.16
内 ベルギー	715,973,452	0.27
内 フランス	8,231,786,141	3.11
内 ドイツ	5,823,352,600	2.20
内 スイス	7,718,447,422	2.92
内 ポルトガル	168,542,620	0.06
内 スペイン	1,848,913,392	0.70
内 イタリア	1,702,452,877	0.64
内 フィンランド	735,741,244	0.28
内 オーストリア	133,353,005	0.05
内 カナダ	9,714,396,465	3.67
内 アメリカ	183,143,263,549	69.28
内 オーストラリア	5,104,011,349	1.93
内 ニュージーランド	138,295,376	0.05
投資証券	6,636,060,966	2.51
内 香港	140,875,017	0.05
内 シンガポール	122,657,413	0.05
内 イギリス	140,791,269	0.05
内 ベルギー	26,714,398	0.01
内 フランス	96,325,906	0.04
内 カナダ	28,181,372	0.01
内 アメリカ	5,545,349,711	2.10
内 オーストラリア	535,165,880	0.20
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	7,606,372,520	2.88
純資産総額	264,355,421,744	100.00

その他の資産の投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
株価指数先物取引(買建)	7,557,481,652	2.86
内 イギリス	421,040,111	0.16
内 ドイツ	1,690,976,338	0.64

	内 カナダ	416,694,480	0.16
	内 アメリカ	4,517,795,093	1.71
	内 オーストラリア	510,975,630	0.19
為替予約取引(買建)		4,223,185,230	1.60
	内 日本	4,223,185,230	1.60

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(注3) 株価指数先物取引の時価については、原則として当該日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しています。このような時価が発表されていない場合には、当該日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しています。

(注4) 為替予約取引の時価については、原則として対顧客先物売買相場の仲値で評価しています。

ダイワJ-REITマザーファンド

(1) 投資状況 (2022年6月30日現在)

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
投資証券	460,554,602,600	97.68
内 日本	460,554,602,600	97.68
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	10,923,017,207	2.32
純資産総額	471,477,619,807	100.00

その他の資産の投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
不動産投信指数先物取引(買建)	10,911,600,000	2.31
内 日本	10,911,600,000	2.31

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(注3) 不動産投信指数先物取引の時価については、原則として当該日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しています。このような時価が発表されていない場合には、当該日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しています。

ダイワ・グローバルREITインデックス・マザーファンド

(1) 投資状況 (2022年6月30日現在)

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	255,636,322	0.94
内 アメリカ	255,636,322	0.94
投資証券	26,534,527,337	97.24
内 ガーンジー	69,792,429	0.26
内 韓国	64,366,284	0.24
内 香港	399,310,886	1.46
内 シンガポール	1,027,598,413	3.77
内 イスラエル	31,154,623	0.11
内 イギリス	1,342,993,974	4.92
内 アイルランド	10,189,777	0.04
内 オランダ	45,099,416	0.17
内 ベルギー	292,301,857	1.07
内 フランス	382,160,235	1.40
内 ドイツ	14,153,620	0.05
内 スペイン	94,804,021	0.35
内 イタリア	7,438,157	0.03
内 カナダ	483,145,110	1.77
内 アメリカ	20,456,753,937	74.97
内 オーストラリア	1,721,172,989	6.31
内 ニュージーランド	92,091,609	0.34
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	497,461,703	1.82
純資産総額	27,287,625,362	100.00

その他の資産の投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
不動産投信指数先物取引(買建)	507,648,383	1.86
内 ドイツ	155,538,834	0.57
内 アメリカ	352,109,549	1.29
為替予約取引(買建)	239,128,253	0.88
内 日本	239,128,253	0.88

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(注3) 為替予約取引の時価については、原則として対顧客先物売買相場の仲値で評価しています。

ダイワ短期日本債券インデックスマザーファンド

(1) 投資状況（2022年6月30日現在）

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
国債証券	342,311,370	98.93
内 日本	342,311,370	98.93
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	3,710,067	1.07
純資産総額	346,021,437	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

外国債券インデックスマザーファンド

(1) 投資状況（2022年6月30日現在）

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
国債証券	234,998,101,882	98.52
内 ユーロ	82,249,522,456	34.48
内 中国	4,710,889,709	1.98
内 シンガポール	1,033,911,501	0.43
内 マレーシア	1,218,695,847	0.51
内 イスラエル	962,121,576	0.40
内 ノルウェー	481,538,840	0.20
内 スウェーデン	635,068,751	0.27
内 デンマーク	909,541,577	0.38
内 イギリス	11,753,869,395	4.93
内 ポーランド	990,277,909	0.42
内 カナダ	4,827,768,598	2.02
内 アメリカ	119,811,961,011	50.23
内 メキシコ	1,855,157,864	0.78
内 オーストラリア	3,557,776,848	1.49
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	3,519,271,302	1.48
純資産総額	238,517,373,184	100.00

その他の資産の投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
為替予約取引(買建)	1,156,546,004	0.48
内 日本	1,156,546,004	0.48

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(注3) 為替予約取引の時価については、原則として対顧客先物売買相場の仲値で評価しています。

(参考情報) 運用実績

●DCダイワ・ターゲットイヤー 2040

2022年6月30日現在

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額・純資産の推移

基準価額	19,682円
純資産総額	2.5億円



基準価額の騰落率

期間	ファンド
1カ月間	-1.0%
3カ月間	-2.8%
6カ月間	-2.8%
1年間	1.9%
3年間	26.9%
5年間	35.0%
設定来	96.8%

※上記の「基準価額の騰落率」とは、

「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

分配の推移(10,000口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額: 0円 設定来分配金合計額: 0円

決算期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期	第12期	第13期	第14期
	10年12月	11年12月	12年12月	13年12月	14年12月	15年12月	16年12月	17年12月	18年12月	19年12月	20年12月	21年12月
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成	銘柄数	比率	通貨別構成	比率	債券ポートフォリオ特性値	組入上位銘柄	国・地域名	比率	
国内株式・先物	2,161	32.6%	日本円	59.6%	直接利回り(%)	トヨタ自動車	日本	1.3%	
国内債券	11	19.6%	米ドル	26.4%	最終利回り(%)	ソニーグループ	日本	0.9%	
外国株式・先物	1,218	17.6%	ユーロ	7.2%	修正デュレーション	APPLE INC	アメリカ	0.9%	
外国債券	889	15.0%	英ポンド	2.0%	残存年数	TOPIX先物 0409月	日本	0.8%	
外国リート・先物	330	7.5%	カナダドル	1.1%	債券格付別構成	MICROSOFT CORP	アメリカ	0.7%	
国内リート・先物	62	7.1%	豪ドル	1.1%	AAA	91.5%	日本ビルファンド	日本	0.5%
外国投資信託等	9	0.1%	スイス・フラン	0.6%	AA	4.2%	PROLOGIS INC	アメリカ	0.5%
			シンガポール・ドル	0.4%	A	4.3%	ジャパンリアルエステイト	日本	0.4%
			オフショア人民元	0.3%	BBB	-	野村不動産マスターF	日本	0.3%
			その他	1.2%	BB	-	日本プロロジスリート	日本	0.3%
コール・ローン、その他	2.3%				-				
合計	4,680	-	合計	100.0%	合計	100.0%	合計	6.6%	

※債券格付別構成の比率は、債券ポートフォリオに対するものです。

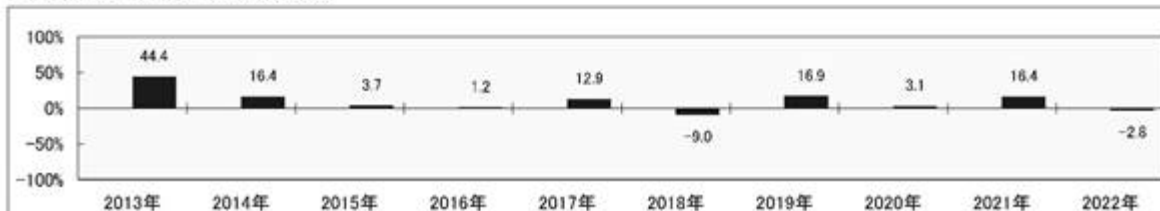
※格付別構成については、R&I、JCR、Moody's、S&P、Fitchの格付けのうち最も高いものを採用し、算出しています。

※外国株式の国・地域名については、原則としてMSCI Inc.が提供するリスク所在国・地域に基づいて表示しています。

※先物の建玉がある場合は、資産別構成の比率合計額を表示していません。

年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



*ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

*2022年は6月30日までの騰落率を表しています。

委託会社のホームページ等で運用状況が開示されている場合があります。

2 【設定及び解約の実績】

	設定数量(口)	解約数量(口)
第5計算期間	4,521,213	2,261,666
第6計算期間	4,772,167	334,316
第7計算期間	2,261,839	449,310
第8計算期間	6,366,392	910,747
第9計算期間	5,468,224	1,102,640
第10計算期間	7,259,647	3,856,478
第11計算期間	9,247,574	2,870,316
第12計算期間	21,843,305	5,886,469
第13計算期間	45,072,340	22,164,723
第14計算期間	70,739,694	19,025,186
2021年12月21日～ 2022年6月20日	34,770,523	24,198,500

3 【ファンドの経理状況】

(1) 当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）並びに同規則第38条の3及び第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当中間計算期間（2021年12月21日から2022年6月20日まで）の中間財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により中間監査を受けております。

DCダイワ・ターゲットイヤー2040

(1)【中間貸借対照表】

(単位：円)

	前計算期間末 2021年12月20日現在	当中間計算期間末 2022年6月20日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	904,299	1,131,830
親投資信託受益証券	238,371,745	251,515,884
未収入金	16,000	1,069,000
流動資産合計	239,292,044	253,716,714
資産合計	239,292,044	253,716,714
負債の部		
流動負債		
未払解約金	21,336	1,214,361
未払受託者報酬	34,997	40,134
未払委託者報酬	385,461	441,990
その他未払費用	8,668	9,959
流動負債合計	450,462	1,706,444
負債合計	450,462	1,706,444
純資産の部		
元本等		
元本	1 120,843,564	1 131,415,587
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	117,998,018	120,594,683
（分配準備積立金）	28,159,838	23,079,589
元本等合計	238,841,582	252,010,270
純資産合計	238,841,582	252,010,270
負債純資産合計	239,292,044	253,716,714

(2)【中間損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	前中間計算期間 自 2020年12月19日 至 2021年6月18日	当中間計算期間 自 2021年12月21日 至 2022年6月20日
営業収益		
有価証券売買等損益	15,235,482	7,845,861
営業収益合計	15,235,482	7,845,861
営業費用		
支払利息	8	12
受託者報酬	23,756	40,134
委託者報酬	261,765	441,990
その他費用	5,865	9,959
営業費用合計	291,394	492,095
営業利益又は営業損失()	14,944,088	8,337,956
経常利益又は経常損失()	14,944,088	8,337,956
中間純利益又は中間純損失()	14,944,088	8,337,956
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額()	1,507,114	586,592
期首剰余金又は期首欠損金()	50,410,207	117,998,018
剰余金増加額又は欠損金減少額	29,562,338	33,985,647
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	29,562,338	33,985,647
剰余金減少額又は欠損金増加額	10,849,752	23,637,618
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	10,849,752	23,637,618
中間剰余金又は中間欠損金()	82,559,767	120,594,683

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	当中間計算期間	
	自 2021年12月21日	至 2022年6月20日
有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。	

(中間貸借対照表に関する注記)

区 分	前計算期間末	当中間計算期間末
	2021年12月20日現在	2022年6月20日現在
1. 1 期首元本額	69,129,056円	120,843,564円
期中追加設定元本額	70,739,694円	34,770,523円
期中一部解約元本額	19,025,186円	24,198,500円
2. 中間計算期間末日における 受益権の総数	120,843,564口	131,415,587口

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

区 分	前中間計算期間	当中間計算期間
	自 2020年12月19日 至 2021年6月18日	自 2021年12月21日 至 2022年6月20日
	該当事項はありません。	該当事項はありません。

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区 分	当中間計算期間末 2022年6月20日現在
1. 金融商品の時価及び中間貸借対 照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。

(2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等
 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しい
 ことから、当該帳簿価額を時価としております。

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

前計算期間末 2021年12月20日現在	当中間計算期間末 2022年6月20日現在
該当事項はありません。	該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	前計算期間末 2021年12月20日現在	当中間計算期間末 2022年6月20日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	1.9765円 (19,765円)	1.9177円 (19,177円)

(参考)

当ファンドは、「トピックス・インデックス・マザーファンド」受益証券、「外国株式インデックスマザーファンド」受益証券、「ダイワ」-REITマザーファンド」受益証券、「ダイワ・グローバルREITインデックス・マザーファンド」受益証券、「ダイワ短期日本債券インデックスマザーファンド」受益証券及び「外国債券インデックスマザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、中間貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同マザーファンドの受益証券であります。

なお、当ファンドの中間計算期間末日(以下、「期末日」)における同マザーファンドの状況は次のとおりであります。

「トピックス・インデックス・マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

貸借対照表

	2021年12月20日現在	2022年6月20日現在
	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	7,179,034,125	8,309,104,249
株式	2 3 182,600,770,840	177,967,858,980

派生商品評価勘定	-	177,800
未収配当金	14,675,780	1,468,569,949
未収利息	256,140	357,372
前払金	3,040,000	216,210,000
その他未収収益	4	19,022,270
流動資産合計	189,801,002,240	187,981,300,620
資産合計	189,801,002,240	187,981,300,620
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	51,781,600	220,114,500
未払金	1,884,400	-
未払解約金	335,456,741	168,003,490
受入担保金	4,575,987,570	6,093,451,528
流動負債合計	4,965,110,311	6,481,569,518
負債合計	4,965,110,311	6,481,569,518
純資産の部		
元本等		
元本	1	144,399,066,641
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金()	45,116,482,737	37,100,664,461
元本等合計	184,835,891,929	181,499,731,102
純資産合計	184,835,891,929	181,499,731,102
負債純資産合計	189,801,002,240	187,981,300,620

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	自 2021年12月21日 至 2022年6月20日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式

	<p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	<p>先物取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場によっております。</p>
3. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金</p> <p>原則として、株式の配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。</p>

(貸借対照表に関する注記)

区 分	2021年12月20日現在	2022年6月20日現在
1. 1 期首	2020年12月19日	2021年12月21日
期首元本額	133,497,261,446円	139,719,409,192円
期中追加設定元本額	22,185,108,638円	11,686,578,153円
期中一部解約元本額	15,962,960,892円	7,006,920,704円
期末元本額の内訳		
ファンド名		
トピックス・インデックス ファンド	2,978,638,277円	2,965,631,776円
ダイワ・トピックス・イン デックスファンドV A	5,607,664,681円	5,185,681,130円
適格機関投資家専用・ダイ ワ・トピックスインデックス ファンドV A 2	923,930円	920,683円
ダイワ国内重視バランスファ ンド30VA(一般投資家私 募)	24,862,174円	23,273,435円
ダイワ国内重視バランスファ ンド50VA(一般投資家私 募)	393,869,554円	330,188,566円

ダイワ国際分散バランスファンド30VA(一般投資家私募)	21,795,176円	21,795,176円
ダイワ国際分散バランスファンド50VA(一般投資家私募)	711,960,045円	633,671,141円
日本株式インデックスファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	258,479,084円	364,474,033円
D-I's TOPIXインデックス	45,380,499円	32,291,216円
DCダイワ・ターゲットイヤー2050	156,996,161円	197,188,449円
iFree TOPIXインデックス	4,963,260,757円	5,841,032,256円
iFree 8資産バランス	3,417,146,307円	3,943,657,062円
iFree 年金バランス	555,794,606円	693,914,850円
DCダイワ日本株式インデックス	66,550,525,465円	68,754,878,180円
ダイワ・ライフ・バランス30	3,090,855,667円	3,235,070,346円
ダイワ・ライフ・バランス50	4,277,017,878円	4,571,149,776円
ダイワ・ライフ・バランス70	4,166,224,676円	4,457,858,895円
年金ダイワ日本株式インデックス	6,020,536,360円	6,461,056,241円
DCダイワ・ターゲットイヤー2030	57,114,876円	58,961,313円
DCダイワ・ターゲットイヤー2040	60,560,892円	64,767,964円
ダイワつみたてインデックス日本株式	1,584,089,956円	2,093,808,008円
ダイワつみたてインデックスバランス30	10,529,649円	11,942,293円
ダイワつみたてインデックスバランス50	10,044,699円	9,843,473円
ダイワつみたてインデックスバランス70	19,885,938円	24,153,161円
ダイワ国内株式インデックス(ラップ専用)	721,017円	187,307,641円

	ダイワ世界バランスファンド 40VA	112,385,430円	85,987,356円
	ダイワ世界バランスファンド 60VA	130,510,052円	97,123,951円
	ダイワ・バランスファンド3 5VA	5,933,455,693円	5,592,154,545円
	ダイワ・バランスファンド2 5VA(適格機関投資家専 用)	526,703,681円	510,036,783円
	ダイワ国内バランスファンド 25VA(適格機関投資家専 用)	75,481,125円	73,437,877円
	ダイワ国内バランスファンド 30VA(適格機関投資家専 用)	141,439,467円	117,645,774円
	ダイワ・ノーロードTOP PIXファンド	200,986,677円	226,183,663円
	ダイワファンドラップTO PIXインデックス	10,254,224,365円	11,400,600,318円
	ダイワTOPPIXインデック ス(ダイワSMA専用)	1,693,854,823円	1,595,508,672円
	ダイワファンドラップオンラ インTOPPIXインデック ス	2,722,760,705円	3,239,002,473円
	ダイワ・インデックスセレク トTOPIX	1,175,396,118円	1,203,805,253円
	ダイワライフスタイル25	151,975,951円	140,103,746円
	ダイワライフスタイル50	602,441,788円	571,094,124円
	ダイワライフスタイル75	481,386,482円	437,028,725円
	DC・ダイワ・トピックス・ インデックス(確定拠出年金 専用ファンド)	10,531,528,511円	8,944,836,317円
	計	139,719,409,192円	144,399,066,641円
2.	期末日における受益権の総数	139,719,409,192口	144,399,066,641口
3.	2 貸付有価証券	株券貸借取引契約により、以 下のとおり有価証券の貸付を 行っております。 株式 4,212,804,300円	株券貸借取引契約により、以 下のとおり有価証券の貸付を 行っております。 株式 5,652,456,720円

4.	3 差入委託証拠金代用有価証券	先物取引に係る差入委託証拠金代用有価証券として以下のとおり差入を行っております。 株式 957,120,000円	先物取引に係る差入委託証拠金代用有価証券として以下のとおり差入を行っております。 株式 814,530,000円
5.	4 その他未収収益	貸付有価証券に係る配当金相当額の未入金分2,813,260円が含まれております。	貸付有価証券に係る配当金相当額の未入金分18,536,980円が含まれております。

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区 分	2022年6月20日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。 (3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

株式関連

種 類	2021年12月20日 現在				2022年6月20日 現在			
	契約額等 (円)	うち 1年超	時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等 (円)	うち 1年超	時価 (円)	評価損益 (円)
市場取引								
株価指数								
先物取引								
買 建	2,223,960,000	-	2,172,240,000	51,720,000	3,749,660,000	-	3,529,830,000	219,830,000
合計	2,223,960,000	-	2,172,240,000	51,720,000	3,749,660,000	-	3,529,830,000	219,830,000

(注) 1. 時価の算定方法

株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として期末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、期末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報)

	2021年12月20日現在	2022年6月20日現在
1口当たり純資産額	1.3229円	1.2569円
(1万口当たり純資産額)	(13,229円)	(12,569円)

「外国株式インデックスマザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

貸借対照表

	2021年12月20日現在	2022年6月20日現在
	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
預金	1,253,840,414	1,814,226,675
コール・ローン	5,197,745,150	3,495,895,551
株式	233,939,162,230	239,144,903,669
投資証券	5,936,676,564	6,283,069,593
派生商品評価勘定	15,064,734	65,798,130
未収入金	2,238,533	33,114,109
未収配当金	175,151,202	299,161,779
差入委託証拠金	5,012,129,733	3,686,587,369
流動資産合計	251,532,008,560	254,822,756,875
資産合計	251,532,008,560	254,822,756,875
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	117,532,109	154,502,080
未払解約金	52,225,700	4,043,275,800

流動負債合計		169,757,809	4,197,777,880
負債合計		169,757,809	4,197,777,880
純資産の部			
元本等			
元本	1	61,674,819,062	64,335,383,649
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		189,687,431,689	186,289,595,346
元本等合計		251,362,250,751	250,624,978,995
純資産合計		251,362,250,751	250,624,978,995
負債純資産合計		251,532,008,560	254,822,756,875

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	自 2021年12月21日 至 2022年6月20日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>(1)株式</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、外国金融商品市場又は店頭市場における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p> <p>(2)投資証券</p>

	<p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、外国金融商品市場又は店頭市場における最終相場(最終相場のないものについては、それに準ずる価額)、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
<p>2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法</p>	<p>(1)先物取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場によっております。</p> <p>(2)為替予約取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として計算日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p>
<p>3. 収益及び費用の計上基準</p>	<p>受取配当金</p> <p>原則として、株式及び投資証券の配当落ち日において、その金額が確定している場合には当該金額を計上し、未だ確定していない場合には入金日基準で計上しております。</p>
<p>4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項</p>	<p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>

(貸借対照表に関する注記)

区 分	2021年12月20日現在	2022年6月20日現在
1. 1 期首	2020年12月19日	2021年12月21日
期首元本額	53,363,008,733円	61,674,819,062円
期中追加設定元本額	13,771,213,468円	6,781,693,681円
期中一部解約元本額	5,459,403,139円	4,121,129,094円
期末元本額の内訳		
ファンド名		
ダイワ外国株式インデックス V A	371,481,601円	347,284,103円
ダイワ国内重視バランスファ ンド30VA(一般投資家私 募)	4,453,234円	3,751,596円
ダイワ国内重視バランスファ ンド50VA(一般投資家私 募)	55,423,826円	45,554,421円
ダイワ国際分散バランスファ ンド30VA(一般投資家私 募)	7,408,815円	7,085,384円
ダイワ国際分散バランスファ ンド50VA(一般投資家私 募)	234,345,757円	201,958,877円
外国株式インデックスファン ド(FOFs用)(適格機関投資 家専用)	39,683,312円	54,740,560円
ダイワファンドラップ 外国 株式インデックス エマー ジングプラス(為替ヘッジな し)	504,665,975円	520,243,554円
ダイワファンドラップ 外国 株式インデックス(為替ヘッ ジなし)	2,509,703,166円	2,759,942,280円
ダイワファンドラップオンラ イン 外国株式インデックス エマーシングプラス(為替 ヘッジなし)	510,646,780円	643,609,506円
D - I ' s 外国株式インデッ クス	15,516,248円	17,944,412円
DCダイワ・ターゲットイ ヤー2050	33,893,242円	41,779,373円

i F r e e 外国株式イン デックス(為替ヘッジなし)	4,215,042,571円	5,128,807,879円
i F r e e 8資産バランス	1,121,933,019円	1,286,129,476円
i F r e e 年金バランス	184,000,246円	224,616,044円
D Cダイワ外国株式インデッ クス	38,684,682,327円	41,279,717,213円
ダイワ・ライフ・バランス3 0	506,389,345円	527,138,941円
ダイワ・ライフ・バランス5 0	933,195,084円	992,603,697円
ダイワ・ライフ・バランス7 0	757,548,873円	799,408,717円
大和D C海外株式インデック スファンド	1,729,006,952円	1,833,840,355円
D Cダイワ・ターゲットイ ヤー2030	12,891,171円	12,633,835円
D Cダイワ・ターゲットイ ヤー2040	11,150,747円	11,403,467円
ダイワつみたてインデックス 外国株式	833,306,342円	1,044,670,061円
ダイワつみたてインデックス バランス3 0	1,690,959円	1,923,475円
ダイワつみたてインデックス バランス5 0	2,174,143円	2,153,578円
ダイワつみたてインデックス バランス7 0	3,645,733円	4,269,698円
ダイワ先進国株式インデック ス(為替ヘッジなし)(投資 一任専用)	- 円	307,717円
ダイワ世界バランスファンド 4 0 V A	107,772,790円	81,664,400円
ダイワ世界バランスファンド 6 0 V A	208,616,060円	153,538,731円
ダイワ・バランスファンド3 5 V A	1,455,327,992円	1,325,196,644円
ダイワ・バランスファンド2 5 V A(適格機関投資家専 用)	73,750,723円	68,591,146円
ダイワバランスファンド 2020-07(適格機関投資家専 用)	194,296,563円	- 円

ダイワバランスファンド 2021-02(適格機関投資家専用)	209,089,795円	186,589,341円
ダイワ・インデックスセレクト 外国株式	943,001,516円	1,068,739,762円
ダイワ・ノーロード 外国株式ファンド	333,687,374円	389,829,719円
ダイワ外国株式インデックス(為替ヘッジなし)(ダイワSMA専用)	1,912,422,156円	378,760,952円
ダイワ投信倶楽部外国株式インデックス	2,851,280,025円	2,799,008,662円
ダイワライフスタイル25	12,394,062円	11,101,606円
ダイワライフスタイル50	49,684,792円	44,105,366円
ダイワライフスタイル75	39,615,746円	34,739,101円
計	61,674,819,062円	64,335,383,649円
2. 期末日における受益権の総数	61,674,819,062口	64,335,383,649口

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区 分	2022年6月20日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。 (3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

1. 株式関連

種 類	2021年12月20日 現在			2022年6月20日 現在		
	契約額等 (円)	時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等 (円)	時価 (円)	評価損益 (円)
	うち			うち		

		1年超				1年超		
市場取引								
株価指数								
先物取引								
買 建	11,789,789,327	-	11,689,355,558	100,433,769	5,269,497,743	-	5,154,824,863	114,672,880
合計	11,789,789,327	-	11,689,355,558	100,433,769	5,269,497,743	-	5,154,824,863	114,672,880

(注) 1. 時価の算定方法

株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として期末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、期末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。また契約額等及び時価の邦貨換算は期末日の対顧客電信売買相場の仲値で行っております。
4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

2. 通貨関連

種 類	2021年12月20日 現在				2022年6月20日 現在			
	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)
	(円)	うち 1年超			(円)	うち 1年超		
市場取引以外の取引								
為替予約取引								
売 建	-	-	-	-	2,612,932,550	-	2,652,288,150	39,355,600
アメリカ・ドル	-	-	-	-	2,530,838,000	-	2,569,611,300	38,773,300
イギリス・ポンド	-	-	-	-	82,094,550	-	82,676,850	582,300
買 建	5,341,793,100	-	5,339,759,494	2,033,606	1,982,520,140	-	2,047,844,670	65,324,530
アメリカ・ドル	3,209,117,795	-	3,214,039,490	4,921,695	983,803,400	-	1,026,952,280	43,148,880
イギリス・ポンド	253,116,898	-	252,600,432	516,466	16,234,300	-	16,525,230	290,930
オーストラリア・ドル	282,982,560	-	283,180,450	197,890	353,182,340	-	356,979,600	3,797,260
カナダ・ドル	325,848,643	-	323,516,372	2,332,271	81,436,000	-	83,148,000	1,712,000

スイス・フラン	307,969,224	-	307,656,500	312,724	188,164,760	-	195,251,980	7,087,220
ユーロ	962,757,980	-	958,766,250	3,991,730	359,699,340	-	368,987,580	9,288,240
合計	5,341,793,100	-	5,339,759,494	2,033,606	4,595,452,690	-	4,700,132,820	25,968,930

(注) 1. 時価の算定方法

- (1) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

- (2) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、期末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。
3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報)

	2021年12月20日現在	2022年6月20日現在
1口当たり純資産額	4.0756円	3.8956円
(1万口当たり純資産額)	(40,756円)	(38,956円)

「ダイワ」-REITマザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

貸借対照表

	2021年12月20日現在	2022年6月20日現在
	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	9,771,002,648	11,115,655,372
投資証券	2 434,362,900,300	439,660,533,550

未収入金	670,746,903	-
未収配当金	1,815,317,726	2,014,573,763
前払金	-	496,720,000
流動資産合計	446,619,967,577	453,287,482,685
資産合計	446,619,967,577	453,287,482,685
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	20,216,000	592,536,000
前受金	260,400,000	-
未払金	-	2,414,887,287
未払解約金	786,411,000	91,810,000
流動負債合計	1,067,027,000	3,099,233,287
負債合計	1,067,027,000	3,099,233,287
純資産の部		
元本等		
元本	1 133,202,288,962	140,070,999,387
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	312,350,651,615	310,117,250,011
元本等合計	445,552,940,577	450,188,249,398
純資産合計	445,552,940,577	450,188,249,398
負債純資産合計	446,619,967,577	453,287,482,685

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

区 分	自 2021年12月21日 至 2022年6月20日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>投資証券</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>

2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	先物取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場によっております。
3. 収益及び費用の計上基準	受取配当金 原則として、投資証券の配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。

(貸借対照表に関する注記)

区 分	2021年12月20日現在	2022年6月20日現在
1. 1 期首	2020年12月19日	2021年12月21日
期首元本額	134,624,414,134円	133,202,288,962円
期中追加設定元本額	26,273,264,912円	18,289,926,188円
期中一部解約元本額	27,695,390,084円	11,421,215,763円
期末元本額の内訳		
ファンド名		
ダイワJ - REITオープン	4,801,166,661円	4,586,499,474円
ダイワJ - REITオープン	116,999,358,707円	123,411,862,758円
(毎月分配型)		
ダイワJ - REITオープン	334,201,598円	348,506,007円
(年1回決算型)		
DCダイワ・ターゲットイ	9,585,118円	12,065,439円
ヤー2050		
iFree J - REITイン	579,105,948円	651,972,588円
デックス		
iFree 8資産バランス	1,364,256,461円	1,562,549,149円
DC・ダイワJ - REIT	5,294,129,212円	5,398,396,151円
オープン		
DCダイワ・ターゲットイ	6,014,642円	6,508,039円
ヤー2030		
DCダイワ・ターゲットイ	4,982,317円	5,504,789円
ヤー2040		
ダイワ国内REITインデッ	- 円	336,521円
クス(投資一任専用)		
ダイワ・ノーロード J - R	97,243,674円	96,463,256円
EITファンド		
ダイワファンドラップ J -	1,875,255,140円	2,194,218,950円
REITインデックス		

	ダイワJ-REITインデックス(ダイワSMA専用)	369,231,583円	348,218,539円
	ダイワファンドラップオンライン J-REITインデックス	515,120,244円	506,721,887円
	ダイワ・インデックスセレクト J-REIT	952,637,657円	941,175,840円
計		133,202,288,962円	140,070,999,387円
2.	期末日における受益権の総数	133,202,288,962口	140,070,999,387口
3.	2 差入委託証拠金代用有価証券	先物取引に係る差入委託証拠金代用有価証券として以下のとおり差入を行っております。 投資証券 5,586,350,000円	先物取引に係る差入委託証拠金代用有価証券として以下のとおり差入を行っております。 投資証券 5,209,200,000円

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区 分	2022年6月20日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。 (3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

不動産投信関連

種 類	2021年12月20日 現在				2022年6月20日 現在			
	契約額等		時価	評価損益	契約額等		時価	評価損益
	(円)	うち			(円)	うち		

		1年超				1年超		
市場取引								
不動産投信 指数先物取引								
買 建	11,208,400,000	-	11,188,800,000	19,600,000	11,131,120,000	-	10,539,200,000	591,920,000
合計	11,208,400,000	-	11,188,800,000	19,600,000	11,131,120,000	-	10,539,200,000	591,920,000

(注) 1. 時価の算定方法

不動産投信指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として期末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、期末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 不動産投信指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報)

	2021年12月20日現在	2022年6月20日現在
1口当たり純資産額	3.3449円	3.2140円
(1万口当たり純資産額)	(33,449円)	(32,140円)

「ダイワ・グローバルREITインデックス・マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

貸借対照表

	2021年12月20日現在	2022年6月20日現在
	金 額 (円)	金 額 (円)
資産の部		
流動資産		
預金	77,178,682	62,759,640
コール・ローン	561,581,827	242,273,454
投資信託受益証券	634,794,940	64,288,924
投資証券	48,297,799,583	25,373,843,278
派生商品評価勘定	1,705,031	4,720,365
未収入金	319,970,945	1,103,863,356

未収配当金		118,771,009	69,775,736
差入委託証拠金		415,715,725	122,521,566
流動資産合計		50,427,517,742	27,044,046,319
資産合計		50,427,517,742	27,044,046,319
負債の部			
流動負債			
派生商品評価勘定		4,435,561	1,530,808
未払金		271,117,852	1,129,058,402
未払解約金		21,376,000	4,360,100
その他未払費用		-	14,260
流動負債合計		296,929,413	1,134,963,570
負債合計		296,929,413	1,134,963,570
純資産の部			
元本等			
元本	1	15,690,434,259	8,453,949,360
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		34,440,154,070	17,455,133,389
元本等合計		50,130,588,329	25,909,082,749
純資産合計		50,130,588,329	25,909,082,749
負債純資産合計		50,427,517,742	27,044,046,319

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

区 分	自 2021年12月21日 至 2022年6月20日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>(1)投資信託受益証券</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、外国金融商品市場又は店頭市場における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>

	<p>(2)投資証券</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、外国金融商品市場又は店頭市場における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
<p>2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法</p>	<p>(1)先物取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場によっております。</p> <p>(2)為替予約取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として計算日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p>
<p>3. 収益及び費用の計上基準</p>	<p>受取配当金</p> <p>原則として、投資信託受益証券及び投資証券の配当落ち日において、その金額が確定している場合には当該金額を計上し、未だ確定していない場合には入金日基準で計上しております。</p>
<p>4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項</p>	<p>外貨建取引等の処理基準</p>

外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。

(貸借対照表に関する注記)

区 分	2021年12月20日現在	2022年6月20日現在
1. 1 期首	2020年12月19日	2021年12月21日
期首元本額	13,140,962,393円	15,690,434,259円
期中追加設定元本額	5,773,494,898円	1,692,609,861円
期中一部解約元本額	3,224,023,032円	8,929,094,760円
期末元本額の内訳		
ファンド名		
ダイワファンドラップ 外国 REITインデックス(為替 ヘッジあり)	6,295,948,752円	- 円
ダイワファンドラップ 外国 REITインデックス(為替 ヘッジなし)	1,143,714,741円	1,139,793,511円
ダイワファンドラップオンラ イン 外国REITインデッ クス(為替ヘッジあり)	336,507,070円	- 円
ダイワファンドラップオンラ イン 外国REITインデッ クス(為替ヘッジなし)	287,027,419円	241,457,751円
D-I's グローバルREIT インデックス	1,920,281円	1,676,900円
DCダイワ・ターゲットイ ヤー2050	8,727,395円	10,746,531円
iFree 外国REITイ ンデックス	650,467,941円	736,038,825円
iFree 8資産バランス グローバル・リート・イン デックスファンド(資産形成 型)	1,462,383,857円	1,657,262,041円
	251,617,852円	258,416,568円

グローバル・リート・イン デックスファンド(毎月決算 型)	116,348,191円	150,624,852円
DCダイワ・グローバルRE ITインデックスファンド	3,355,252,225円	3,762,945,201円
DCダイワ・ターゲットイ ヤー2030	6,384,178円	6,755,589円
DCダイワ・ターゲットイ ヤー2040	5,332,616円	5,715,776円
ダイワ海外REITインデッ クス(為替ヘッジなし)(投 資一任専用)	- 円	340,068円
ダイワバランスファンド 2020-07(適格機関投資家専 用)	168,184,947円	- 円
ダイワバランスファンド 2021-02(適格機関投資家専 用)	181,663,633円	161,211,552円
ダイワ・インデックスセレクト グローバルREIT	243,525,692円	248,594,289円
ダイワ・ノーロード グロー バルREITファンド	61,679,527円	68,423,645円
ダイワ外国REITインデッ クス(為替ヘッジあり)(ダ イワSMA専用)	1,109,755,007円	- 円
ダイワ外国REITインデッ クス(為替ヘッジなし)(ダ イワSMA専用)	3,992,935円	3,946,261円
計	15,690,434,259円	8,453,949,360円
2. 期末日における受益権の総数	15,690,434,259口	8,453,949,360口

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区 分	2022年6月20日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表 計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額 と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)デリバティブ取引

デリバティブ取引に関する注記に記載しております。

(3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

1. 不動産投信関連

種 類	2021年12月20日 現在				2022年6月20日 現在			
	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)
	(円)	うち 1年超			(円)	うち 1年超		
市場取引								
不動産投信 指数先物取引								
買 建	1,155,924,678	-	1,152,061,055	3,863,623	488,409,456	-	487,559,253	850,203
合計	1,155,924,678	-	1,152,061,055	3,863,623	488,409,456	-	487,559,253	850,203

(注) 1. 時価の算定方法

不動産投信指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として期末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、期末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 不動産投信指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。また契約額等及び時価の邦貨換算は期末日の対顧客電信売買相場の仲値で行っております。
4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

2. 通貨関連

種 類	2021年12月20日 現在				2022年6月20日 現在			
	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)
	(円)	うち 1年超			(円)	うち 1年超		
市場取引以外の取引								

為替予約取引								
売 建	47,975,647	-	48,038,172	62,525	-	-	-	-
アメリカ・ドル	36,319,680	-	36,356,960	37,280	-	-	-	-
ユーロ	11,655,967	-	11,681,212	25,245	-	-	-	-
買 建	564,008,057	-	565,203,675	1,195,618	262,024,157	-	266,063,917	4,039,760
アメリカ・ドル	430,232,799	-	431,794,280	1,561,481	158,787,133	-	162,555,735	3,768,602
イギリス・ポンド	2,102,094	-	2,105,573	3,479	8,267,745	-	8,267,685	60
オーストラリア・ドル	17,776,847	-	17,796,287	19,440	18,730,470	-	18,788,400	57,930
カナダ・ドル	2,078,046	-	2,081,017	2,971	2,138,320	-	2,078,700	59,620
シンガポール・ドル	-	-	-	-	10,712,262	-	10,712,350	88
ユーロ	109,054,568	-	108,660,175	394,393	55,085,877	-	55,348,137	262,260
韓国・ウォン	-	-	-	-	3,133,500	-	3,144,000	10,500
香港・ドル	2,763,703	-	2,766,343	2,640	5,168,850	-	5,168,910	60
合計	611,983,704	-	613,241,847	1,133,093	262,024,157	-	266,063,917	4,039,760

(注) 1. 時価の算定方法

- (1) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

- (2) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、期末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。
3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報)

	2021年12月20日現在	2022年6月20日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	3.1950円 (31,950円)	3.0647円 (30,647円)

「ダイワ短期日本債券インデックスマザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

貸借対照表

	2021年12月20日現在	2022年6月20日現在
	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	4,499,641	3,081,909
国債証券	323,942,760	344,254,000
未収利息	122,984	130,168
前払費用	14,011	832
流動資産合計	328,579,396	347,466,909
資産合計	328,579,396	347,466,909
負債の部		
流動負債		
未払解約金	-	703,000
流動負債合計	-	703,000
負債合計	-	703,000
純資産の部		
元本等		
元本	1 314,356,530	332,198,112
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金()	14,222,866	14,565,797
元本等合計	328,579,396	346,763,909
純資産合計	328,579,396	346,763,909
負債純資産合計	328,579,396	347,466,909

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

区 分	自 2021年12月21日 至 2022年6月20日
有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券</p> <p>個別法に基づき、時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額又は日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）等で評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>

（貸借対照表に関する注記）

区 分	2021年12月20日現在	2022年6月20日現在
1. 1 期首	2020年12月19日	2021年12月21日
期首元本額	6,513,195円	314,356,530円
期中追加設定元本額	347,115,400円	52,926,432円
期中一部解約元本額	39,272,065円	35,084,850円
期末元本額の内訳		
ファンド名		
DCダイワ・ターゲットイ ヤー2050	26,486,360円	33,321,776円
DCダイワ・ターゲットイ ヤー2020	108,542,159円	97,067,895円
DCダイワ・ターゲットイ ヤー2030	135,752,811円	152,372,727円
DCダイワ・ターゲットイ ヤー2040	43,575,200円	49,435,714円
計	314,356,530円	332,198,112円
2. 期末日における受益権の総数	314,356,530口	332,198,112口

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区 分	2022年6月20日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。

2. 金融商品の時価の算定方法	<p>(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。</p> <p>(2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。</p>
-----------------	--

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

2021年12月20日現在	2022年6月20日現在
該当事項はありません。	該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	2021年12月20日現在	2022年6月20日現在
1口当たり純資産額	1.0452円	1.0438円
(1万口当たり純資産額)	(10,452円)	(10,438円)

「外国債券インデックスマザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

貸借対照表

	2021年12月20日現在	2022年6月20日現在
	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
預金	432,520,132	877,931,514
コール・ローン	1,168,153,193	1,054,409,676
国債証券	231,782,934,708	230,877,529,408
派生商品評価勘定	318,574	34,682,789
未収入金	16,245	3,653,751,124
未収利息	1,239,129,219	1,396,564,984
前払費用	26,729,836	51,622,936
流動資産合計	234,649,801,907	237,946,492,431
資産合計	234,649,801,907	237,946,492,431
負債の部		
流動負債		

派生商品評価勘定		2,247,272	53,162,054
未払金		390,208	-
未払解約金		56,147,554	4,397,604,784
流動負債合計		58,785,034	4,450,766,838
負債合計		58,785,034	4,450,766,838
純資産の部			
元本等			
元本	1	74,672,925,593	74,061,824,877
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		159,918,091,280	159,433,900,716
元本等合計		234,591,016,873	233,495,725,593
純資産合計		234,591,016,873	233,495,725,593
負債純資産合計		234,649,801,907	237,946,492,431

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

区 分	自 2021年12月21日 至 2022年6月20日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券</p> <p>個別法に基づき、時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、又は価格情報会社の提供する価額等で評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	<p>為替予約取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として計算日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p>

3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>
----------------------------	---

(貸借対照表に関する注記)

区 分	2021年12月20日現在	2022年6月20日現在
1. 1 期首	2020年12月19日	2021年12月21日
期首元本額	70,392,881,865円	74,672,925,593円
期中追加設定元本額	9,932,425,637円	4,431,686,169円
期中一部解約元本額	5,652,381,909円	5,042,786,885円

ダイワファンドラップ 外国 債券インデックス エマー ジ ングプラス(為替ヘッジな し)	509,869,721円	590,338,582円
ダイワファンドラップ 外国 債券インデックス(為替ヘッ ジなし)	2,330,554,085円	2,457,195,301円
ダイワファンドラップオンラ イン 外国債券インデックス エマージングプラス(為替 ヘッジなし)	846,032,534円	643,192,490円
D - I ' s 外国債券インデッ クス	765,768円	964,758円
D Cダイワ・ターゲットイ ヤー2050	7,328,602円	10,956,569円
i F r e e 外国債券イン デックス	1,758,964,643円	1,961,168,433円
i F r e e 8資産バランス	1,461,523,347円	1,647,587,640円
i F r e e 年金バランス	238,716,164円	287,297,660円
D Cダイワ外国債券インデッ クス	49,656,604,656円	49,793,018,415円
ダイワ・ライフ・バランス3 0	976,846,606円	1,014,193,197円
ダイワ・ライフ・バランス5 0	610,161,427円	638,800,912円
ダイワ・ライフ・バランス7 0	396,812,649円	416,763,408円
D Cダイワ・ワールドアセッ ト(六つの羽/安定コース)	582,032,544円	613,694,087円
D Cダイワ・ワールドアセッ ト(六つの羽/6分散コー ス)	444,325,582円	476,490,455円
D Cダイワ・ワールドアセッ ト(六つの羽/成長コース)	162,174,994円	180,073,131円
D Cダイワ・ターゲットイ ヤー2030	29,622,344円	31,638,723円
D Cダイワ・ターゲットイ ヤー2040	10,683,059円	12,330,751円
ダイワつみたてインデックス 外国債券	630,063,162円	1,103,386,113円
ダイワつみたてインデックス バランス30	3,395,429円	3,775,192円

ダイワつみたてインデックス バランス50	1,440,219円	1,373,889円
ダイワつみたてインデックス バランス70	1,897,080円	2,283,447円
ダイワ先進国債券インデック ス(為替ヘッジなし)(ラッ プ専用)	317,987円	16,192,117円
ダイワ世界バランスファンド 40VA	164,717,681円	126,843,591円
ダイワ世界バランスファンド 60VA	136,633,533円	102,203,653円
ダイワ・バランスファンド3 5VA	3,856,062,322円	3,539,484,068円
ダイワ・バランスファンド2 5VA(適格機関投資家専 用)	229,414,922円	216,527,536円
ダイワ・インデックスセレク ト 外国債券	143,499,097円	147,877,796円
ダイワ・ノーロード 外国債 券ファンド	43,853,527円	46,344,014円
ダイワ外国債券インデックス (為替ヘッジなし)(ダイワ SMA専用)	2,364,084,706円	1,168,396,386円
ダイワ投信倶楽部外国債券イ ンデックス	5,829,571,725円	5,611,977,197円
ダイワライフスタイル25	33,009,183円	29,519,607円
ダイワライフスタイル50	65,126,638円	59,443,380円
ダイワライフスタイル75	17,354,980円	15,350,932円
計	74,672,925,593円	74,061,824,877円
2. 期末日における受益権の総数	74,672,925,593口	74,061,824,877口

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区 分	2022年6月20日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表 計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額 と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)デリバティブ取引

デリバティブ取引に関する注記に記載しております。

(3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

（デリバティブ取引に関する注記）

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

通貨関連

種 類	2021年12月20日 現在				2022年6月20日 現在			
	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)
	(円)	うち 1年超			(円)	うち 1年超		
市場取引以外の 取引								
為替予約取引								
売 建	-	-	-	-	4,093,632,939	-	4,146,794,993	53,162,054
アメリカ・ドル	-	-	-	-	2,157,749,280	-	2,190,811,860	33,062,580
イギリス・ポンド	-	-	-	-	218,699,881	-	220,251,128	1,551,247
オーストラリア・ ドル	-	-	-	-	65,063,124	-	65,428,176	365,052
カナダ・ドル	-	-	-	-	90,520,107	-	91,637,215	1,117,108
シンガポール・ ドル	-	-	-	-	19,723,501	-	19,963,925	240,424
スウェーデン・ クローナ	-	-	-	-	9,183,300	-	9,310,000	126,700
ノルウェー・ クローネ	-	-	-	-	9,029,758	-	9,166,106	136,348
メキシコ・ペソ	-	-	-	-	13,026,200	-	13,330,000	303,800
ユーロ	-	-	-	-	1,510,637,788	-	1,526,896,583	16,258,795
買 建	1,081,771,778	-	1,079,843,080	1,928,698	848,504,178	-	883,186,967	34,682,789
アメリカ・ドル	580,843,321	-	580,629,135	214,186	467,331,476	-	489,964,337	22,632,861
イギリス・ポンド	76,845,564	-	76,386,486	459,078	-	-	-	-
オフショア・ 人民元	-	-	-	-	85,245,104	-	89,375,550	4,130,446

シンガポール・ドル	31,361,148	-	31,419,964	58,816	-	-	-	-
ユーロ	392,721,745	-	391,407,495	1,314,250	295,927,598	-	303,847,080	7,919,482
合計	1,081,771,778	-	1,079,843,080	1,928,698	4,942,137,117	-	5,029,981,960	18,479,265

(注) 1. 時価の算定方法

(1) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

(2) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、期末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。

3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報)

	2021年12月20日現在	2022年6月20日現在
1口当たり純資産額	3.1416円	3.1527円
(1万口当たり純資産額)	(31,416円)	(31,527円)

4 【委託会社等の概況】

(1) 【資本金の額】

2022年6月末日現在

資本金の額 151億7,427万2,500円

発行可能株式総数 799万9,980株

発行済株式総数 260万8,525株

過去5年間ににおける資本金の額の増減：該当事項はありません。

(2) 【事業の内容及び営業の状況】

委託会社は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社として、証券投資信託の設定を行なうとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行なっています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務等の関連する業務を行なっています。

2022年6月末日現在、委託会社が運用を行なっている投資信託（親投資信託を除きます。）は次のとおりです。

基本的性格	本数（本）	純資産額の合計額（百万円）
単位型株式投資信託	75	254,179
追加型株式投資信託	777	20,482,551
株式投資信託 合計	852	20,736,731
単位型公社債投資信託	84	181,150
追加型公社債投資信託	14	1,397,299
公社債投資信託 合計	98	1,578,449
総合計	950	22,315,180

(3) 【その他】

a. 定款の変更、事業譲渡または事業譲受、出資の状況その他の重要事項

2022年4月1日付で、定款について次の変更を致しました。

- ・ 監査役の人数の変更（4名以内から5名以内に変更）

b. 訴訟事件その他委託会社に重要な影響を及ぼすことが予想される事実

訴訟事件その他委託会社に重要な影響を及ぼすことが予想される事実はありません。

5 【委託会社等の経理状況】

- 1．当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）に基づいて作成しております。
- 2．当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当事業年度（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の財務諸表についての監査を、有限責任 あずさ監査法人により受けております。
- 3．財務諸表の記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(1) 【貸借対照表】

(単位:百万円)

	前事業年度 (2021年3月31日)		当事業年度 (2022年3月31日)	
資産の部				
流動資産				
現金・預金		4,860		3,168
有価証券		333		486
前払費用		237		332
未収委託者報酬		13,150		13,811
未収収益		49		52
関係会社短期貸付金		18,700		24,900
その他		207		45
流動資産計		37,539		42,799
固定資産				
有形固定資産	1	224	1	203
建物		6		4
器具備品		218		198
無形固定資産		1,937		1,770
ソフトウェア		1,882		1,738
ソフトウェア仮勘定		54		31
投資その他の資産		16,121		16,617
投資有価証券		10,159		10,755
関係会社株式		3,705		3,705
出資金		183		177
長期差入保証金		1,068		1,067

繰延税金資産	973	885
その他	30	26
固定資産計	18,283	18,591
資産合計	55,822	61,390

(単位:百万円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債		
預り金	68	65
未払金	8,405	9,856
未払収益分配金	13	26
未払償還金	39	12
未払手数料	4,734	4,917
その他未払金	2	2
未払費用	3,777	4,246
未払法人税等	804	980
未払消費税等	631	1,016
賞与引当金	950	866
その他	88	2
流動負債計	14,725	17,033
固定負債		
退職給付引当金	2,452	2,399
役員退職慰労引当金	74	13
その他	3	1
固定負債計	2,530	2,415
負債合計	17,256	19,449
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,174	15,174
資本剰余金		
資本準備金	11,495	11,495
資本剰余金合計	11,495	11,495
利益剰余金		
利益準備金	374	374
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	10,574	13,925

利益剰余金合計	10,948	14,299
株主資本合計	37,618	40,969
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	947	971
評価・換算差額等合計	947	971
純資産合計	38,566	41,941
負債・純資産合計	55,822	61,390

(2) 【損益計算書】

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業収益		
委託者報酬	65,487	74,402
その他営業収益	419	545
営業収益計	65,906	74,948
営業費用		
支払手数料	27,965	31,234
広告宣伝費	624	650
調査費	8,245	9,104
調査費	1,134	1,252
委託調査費	7,110	7,851
委託計算費	1,501	1,729
営業雑経費	1,870	2,051
通信費	240	189
印刷費	478	468
協会費	51	46
諸会費	14	15
その他営業雑経費	1,084	1,331
営業費用計	40,207	44,768
一般管理費		
給料	5,991	5,948
役員報酬	351	306
給料・手当	4,293	4,281
賞与	395	493
賞与引当金繰入額	950	866
福利厚生費	893	867
交際費	32	46
旅費交通費	37	48

租税公課	472	527
不動産賃借料	1,302	1,300
退職給付費用	449	408
役員退職慰労引当金繰入額	28	10
固定資産減価償却費	661	606
諸経費	1,763	1,864
一般管理費計	11,631	11,628
営業利益	14,067	18,551

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業外収益		
投資有価証券売却益	578	327
有価証券償還益	42	40
その他	68	264
営業外収益計	689	631
営業外費用		
投資有価証券売却損	69	59
有価証券償還損	47	0
その他	24	34
営業外費用計	141	93
経常利益	14,616	19,089
特別損失		
システム刷新関連費用	547	-
関係会社整理損失	267	-
投資有価証券評価損	45	331
特別損失計	860	331
税引前当期純利益	13,756	18,757
法人税、住民税及び事業税	4,476	5,950
法人税等調整額	109	69
法人税等合計	4,366	6,019
当期純利益	9,389	12,738

(3) 【株主資本等変動計算書】

前事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計	
当期首残高	15,174	11,495	374	11,749	12,123	38,793
当期変動額						
剰余金の配当	-	-	-	△ 10,564	△ 10,564	△ 10,564
当期純利益	-	-	-	9,389	9,389	9,389
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	-	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	-	△ 1,175	△ 1,175	△ 1,175
当期末残高	15,174	11,495	374	10,574	10,948	37,618

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価 証券評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△ 363	△ 363	38,430
当期変動額			
剰余金の配当	-	-	△ 10,564
当期純利益	-	-	9,389
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	1,311	1,311	1,311
当期変動額合計	1,311	1,311	136
当期末残高	947	947	38,566

当事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計	
当期首残高	15,174	11,495	374	10,574	10,948	37,618
当期変動額						
剰余金の配当	-	-	-	△ 9,388	△ 9,388	△ 9,388
当期純利益	-	-	-	12,738	12,738	12,738
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	-	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	-	3,350	3,350	3,350
当期末残高	15,174	11,495	374	13,925	14,299	40,969

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	947	947	38,566
当期変動額			
剰余金の配当	-	-	△ 9,388
当期純利益	-	-	12,738
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	24	24	24
当期変動額合計	24	24	3,374
当期末残高	971	971	41,941

注記事項

(重要な会計方針)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法により計上しております。

(2) その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下の通りであります。

建物	10～18年
----	--------

器具備品 4～20年

(2) 無形固定資産

定額法によっております。なお、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間（5年間）に基づく定額法によっております。

3. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

役員及び従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上しております。

(2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当社の退職金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。これは、当社の退職金は、将来の昇給等による給付額の変動がなく、貢献度、能力及び実績等に応じて事業年度ごとに各人別の勤務費用が確定するためであります。また、執行役員・参与及び上席参事についても、当社の退職金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。

(3) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、当社の役員退職慰労金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。

当社は証券投資信託の信託約款に基づき、証券投資信託の運用について履行義務を負っております。委託者報酬は、日々の純資産総額に対する一定割合として認識され、確定した報酬を受け取ります。当社が日々サービスを提供する時に当該履行義務が充足されるため、証券投資信託の運用期間にわたり収益を認識しております。

5. その他財務諸表作成のための基礎となる事項

(1) 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

(2) 連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用

当社は、翌事業年度から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行することとなります。ただし、「所得税法等の一部を改正する法律」（令和2年法律第8号）において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」（実務対応報告第39号 2020年3月31日）第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日）第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

なお、翌事業年度の期首から、グループ通算制度を適用する場合における法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示の取扱いを定めた「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日）を適用する予定であります。

(重要な会計上の見積り)

該当事項はありません。

（会計方針の変更に関する注記）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これによる当事業年度の損益及び期首利益剰余金に与える影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-3項に定める経過的な取扱いに従って、前事業年度に係る「収益認識関係」注記については記載しておりません。

（未適用の会計基準等）

- ・「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日）

(1) 概要

投資信託の時価の算定及び注記に関する取扱い並びに貸借対照表に持分相当額を純額で計上する組合等への出資の時価の注記に関する取扱いが定められました。

(2) 適用予定日

2023年3月期の期首より適用予定であります。

(3) 当該会計基準等の適用による影響

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」の適用による財務諸表に与える影響については、現時点で評価中であります。

（貸借対照表関係）

1 有形固定資産の減価償却累計額

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
建物	35百万円	37百万円
器具備品	259百万円	283百万円

2 関係会社項目

関係会社に対する資産及び負債には区分掲記されたもののほか次のものがあります。

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
未払金	3,473百万円	4,694百万円

3 保証債務

前事業年度(2021年3月31日)

子会社であるDaiwa Asset Management(Singapore)Ltd.の債務1,727百万円に対して保証を行っております。

当事業年度(2022年3月31日)

子会社であるDaiwa Asset Management(Singapore)Ltd.の債務1,900百万円に対して保証を行っております。

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

(単位:千株)

	当事業年度期首 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
発行済株式				
普通株式	2,608	-	-	2,608
合計	2,608	-	-	2,608

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	剰余金の配当の 総額(百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2020年6月23日 定時株主総会	普通株式	10,564	4,050	2020年 3月31日	2020年 6月24日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2021年6月22日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

剰余金の配当の総額	9,388百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	3,599円
基準日	2021年3月31日
効力発生日	2021年6月23日

当事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

(単位:千株)

	当事業年度期首 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
発行済株式				

普通株式	2,608	-	-	2,608
合計	2,608	-	-	2,608

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	剰余金の配当の総額(百万円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
2021年6月22日 定時株主総会	普通株式	9,388	3,599	2021年 3月31日	2021年 6月23日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2022年6月23日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

剰余金の配当の総額	12,737百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	4,883円
基準日	2022年3月31日
効力発生日	2022年6月24日

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、投資運用業及び投資助言・代理業などの資産運用に関する事業を行っております。資金運用については安全性の高い金融商品に限定しております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

証券投資信託に係る運用報酬の未決済額である未収委託者報酬は、運用するファンドの財産が信託されており、「投資信託及び投資法人に関する法律」、その他関係法令等により一定の制限が設けられているためリスクは極めて軽微であります。有価証券及び投資有価証券は、証券投資信託、株式であります。証券投資信託は事業推進目的で保有しており、価格変動リスク及び為替変動リスクに晒されております。株式は上場株式、非上場株式、子会社株式並びに関連会社株式を保有しており、上場株式は価格変動リスク及び発行体の信用リスクに、非上場株式、子会社株式及び関連会社株式は発行体の信用リスクに晒されております。関係会社短期貸付金は、親会社に対して貸付を行っているものであります。

未払手数料は証券投資信託の販売に係る代行手数料の未払額であります。その他未払金は主に連結納税の親会社へ支払う法人税の未払額であります。未払費用は主にファンド運用に係る業務を委託したこと等により発生する費用の未払額であります。これらは、そのほとんどが1年以内の支払期日であります。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

市場リスクの管理

() 為替変動リスクの管理

当社は、財務リスク管理規程に従い、個別の案件ごとに為替変動リスク管理の検討を行っております。

() 価格変動リスクの管理

当社は、財務リスク管理規程に従い、個別の案件ごとに価格変動リスク管理の検討を行っており、定期的に時価や発行体の財務状況等を把握しリスクマネジメント会議において報告を行っております。

信用リスクの管理

発行体の信用リスクは財務リスク管理規程に従い、定期的に財務状況等を把握しリスクマネジメント会議において報告を行っております。

2. 金融商品の時価等及び時価のレベルごとの内訳等に関する事項

貸借対照表計上額、時価並びにレベルごとの内訳等については、次のとおりであります。なお、2019年7月4日公表の企業会計基準適用指針第31号「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（以下、「2019年適用指針」という。）第26項に従い経過措置を適用した有価証券、市場価格のない株式等は、次表には含めておりません。

また、金融商品の時価は、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

前事業年度（2021年3月31日）

(1) 時価をもって貸借対照表価額とする金融資産及び金融負債

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
投資有価証券(1)	85	-	-	85
資産合計	85	-	-	85

(1) 2019年適用指針第26項に従い経過措置を適用し、有価証券333百万円、投資有価証券9,406百万円は上記の表に含めておりません。

(2) 時価をもって貸借対照表価額としない金融資産及び金融負債

現金・預金、未収委託者報酬、コマーシャル・ペーパー、未払金及び未払費用は、短期間（1年以内）で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

当事業年度（2022年3月31日）

（1）時価をもって貸借対照表価額とする金融資産及び金融負債

（単位：百万円）

	貸借対照表計上額			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
投資有価証券（1）	66	-	-	66
資産合計	66	-	-	66

（1）2019年適用指針第26項に従い経過措置を適用し、有価証券486百万円、投資有価証券10,022百万円は上記の表に含めておりません。

（2）時価をもって貸借対照表価額としない金融資産及び金融負債

現金・預金、未収委託者報酬、関係会社短期貸付金、未払金及び未払費用は、短期間（1年以内）で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

（注1）時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

投資有価証券

株式は活発な市場における無調整の相場価格を利用できることから、その時価をレベル1に分類しております。なお、2019年適用指針第26項に従い経過措置を適用している有価証券は、公表されている基準価額によっていることからレベルを付しておりません。保有目的ごとの有価証券に関する事項については、注記事項（有価証券関係）をご参照下さい。

（注2）市場価格のない株式等の貸借対照表計上額は次のとおりであり、金融商品の時価等及び時価のレベルごとの内訳等に関する事項で開示している表中の投資有価証券には含めておりません。

（単位：百万円）

区分	前事業年度	当事業年度
非上場株式等	666	666
子会社株式	1,677	1,677
関連会社株式	2,027	2,027

（有価証券関係）

1．子会社株式及び関連会社株式

前事業年度（2021年3月31日）

子会社株式（貸借対照表計上額 1,677百万円）及び関連会社株式（貸借対照表計上額 2,027百万円）は、市場価格がないことから、記載しておりません。

当事業年度（2022年3月31日）

子会社株式（貸借対照表計上額 1,677百万円）及び関連会社株式（貸借対照表計上額 2,027百万円）は、市場価格がないことから、記載しておりません。

2．その他有価証券

前事業年度(2021年3月31日)

	貸借対照表計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
(1) 株式	85	55	30
(2) その他	7,179	5,697	1,481
小計	7,265	5,752	1,512
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
その他	2,561	2,721	160
小計	2,561	2,721	160
合計	9,826	8,474	1,352

(注) 非上場株式(貸借対照表計上額 666百万円)については、市場価格がないことから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

当事業年度(2022年3月31日)

	貸借対照表計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
(1) 株式	66	55	11
(2) その他	6,755	4,917	1,838
小計	6,822	4,972	1,850
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
その他	3,753	4,208	454
小計	3,753	4,208	454
合計	10,575	9,180	1,395

(注) 非上場株式(貸借対照表計上額 666百万円)については、市場価格がないことから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

3. 売却したその他有価証券

前事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

種類	売却額 (百万円)	売却益の合計額 (百万円)	売却損の合計額 (百万円)
(1) 株式	-	-	-
(2) その他 証券投資信託	5,353	578	69
合計	5,353	578	69

当事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

種類	売却額 (百万円)	売却益の合計額 (百万円)	売却損の合計額 (百万円)
(1) 株式	-	-	-
(2) その他 証券投資信託	1,719	327	59

合計	1,719	327	59

4. 減損処理を行った有価証券

前事業年度において、関係会社株式について267百万円、証券投資信託について45百万円の減損処理を行っております。

当事業年度において、証券投資信託について331百万円の減損処理を行っております。

(退職給付関係)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、非積立型の確定給付制度(退職一時金制度であります)及び確定拠出制度を採用しております。

2. 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
退職給付債務の期首残高	2,574百万円	2,452百万円
勤務費用	155	152
退職給付の支払額	378	303
その他	101	98
退職給付債務の期末残高	2,452	2,399

(2) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
非積立型制度の退職給付債務	2,452百万円	2,399百万円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	2,452	2,399
退職給付引当金	2,452	2,399
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	2,452	2,399

(3)退職給付費用及びその内訳項目の金額

	前事業年度	当事業年度
	(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
勤務費用	155百万円	152百万円
その他	108	67
確定給付制度に係る退職給付費用	263	219

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度186百万円、当事業年度189百万円であります。

(税効果会計関係)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳

(単位：百万円)

	前事業年度	当事業年度
	(2021年3月31日)	(2022年3月31日)
繰延税金資産		
退職給付引当金	750	734
賞与引当金	243	227
未払事業税	170	213
投資有価証券評価損	128	144
システム関連費用	155	111
出資金評価損	94	94
その他	298	437
繰延税金資産小計	1,841	1,963
評価性引当額	254	356
繰延税金資産合計	1,586	1,607
繰延税金負債		
連結法人間取引(譲渡 益)	159	159
その他有価証券評価差額 金	453	562
繰延税金負債合計	612	722
繰延税金資産の純額	973	885

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

前事業年度(2021年3月31日)

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

当事業年度(2022年3月31日)

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

(収益認識関係)

(1) 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社は、証券投資信託に関する運用その他の業務を行っております。営業収益の内訳は、証券投資信託に関する運用に係る業務が74,402百万円、その他545百万円であります。

(2) 収益を理解するための基礎となる情報

(重要な会計方針)の4.収益及び費用の計上基準に記載のとおりであります。

(3) 顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当事業年度末において存在する顧客との契約から当事業年度の末日後に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

当社は、資産運用に関する事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

[関連情報]

1.サービスごとの情報

単一のサービス区分の営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2.地域ごとの情報

(1)営業収益

内国籍証券投資信託又は本邦顧客からの営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2)有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3.主要な顧客ごとの情報

営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

前事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

該当事項はありません。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

該当事項はありません。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

該当事項はありません。

(関連当事者情報)

1 . 関連当事者との取引

(ア) 財務諸表提出会社の親会社

前事業年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

属性	会社等の名称	住所	資本金または出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合 (%)	関係内容		取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
						役員の兼任等	事業上の関係				
親会社	㈱大和証券グループ本社	東京都千代田区	247,397	証券持株会社業	被所有 100.0	あり	経営管理	資金の貸付 利息の受取 (注)	19,300 0	関係会社短期貸付金 -	18,700 -

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 貸付利息については市場金利を勘案して合理的に決定し、返済期間は1年以内としております。なお、担保は受け入れておりません。

当事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

属性	会社等の名称	住所	資本金または出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合 (%)	関係内容		取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
						役員の兼任等	事業上の関係				
親会社	㈱大和証券グループ本社	東京都千代田区	247,397	証券持株会社業	被所有 100.0	あり	経営管理	資金の貸付 利息の受取 (注)	19,000 0	関係会社短期貸付金 受取利息関係 会社	24,900 0

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 貸付利息については市場金利を勘案して合理的に決定し、返済期間は1年以内としております。なお、担保は受け入れておりません。

(イ) 財務諸表提出会社の子会社

前事業年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合 (%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
----	--------	-----	-------------------	-------	-----------------------	-----------	-------	---------------	----	---------------

子会社	Daiwa Asset Management (Singapore)Ltd.	Singapore	133	金融商品取引業	所有直接100.0	経営管理	債務保証(注)	1,727	-	-
-----	--	-----------	-----	---------	-----------	------	---------	-------	---	---

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) シンガポール通貨庁(MAS)に対する当社からの保証状により、当該関連当事者の債務不履行、及びMASへの全ての損害等に対して保証しております。なお、債務総額は当該関連当事者の総運用資産額に応じて保証状にて定めるとおりに決定しております。

当事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金(百万円)	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
子会社	Daiwa Asset Management (Singapore)Ltd.	Singapore	133	金融商品取引業	所有直接100.0	経営管理	債務保証(注)	1,900	-	-

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) シンガポール通貨庁(MAS)に対する当社からの保証状により、当該関連当事者の債務不履行、及びMASへの全ての損害等に対して保証しております。なお、債務総額は当該関連当事者の総運用資産額に応じて保証状にて定めるとおりに決定しております。

(ウ) 財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社

前事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

属性	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金(百万円)	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
同一の親会社をもつ会社	大和証券(株)	東京都千代田区	100,000	金融商品取引業	-	証券投資信託受益証券の募集販売 本社ビルの管理	証券投資信託の代行手数料(注2) 不動産の賃借料(注4)	14,917 527	未払手数料 長期差入保証金	3,321 1,054
同一の親会社をもつ会社	(株)大和総研ビジネス・イノベーション	東京都江東区	3,000	情報サービス業	-	ソフトウェアの開発	ソフトウェアの購入(注3)	883	未払費用	179
同一の親会社をもつ会社	大和プロパティ(株)	東京都中央区	100	不動産管理業	-	本社ビルの管理	不動産の賃借料(注4)	527	-	-

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

(注2)証券投資信託の代行手数料については、証券投資信託の信託約款に定める受益者が負担する信託報酬のうち、当社が受け取る委託者報酬から代理事務に係る手数料として代行手数料を支払います。委託者報酬の配分は、両者協議のうえ合理的に決定しております。

(注3)ソフトウェアの購入については、市場の実勢価格を勘案して、その都度交渉の上、購入価格を決定しております。

(注4)差入保証金および賃借料については、近隣相場等を勘案し、交渉の上、決定しております。

当事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

属性	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合 (%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
同一の親会社をもつ会社	大和証券(株)	東京都千代田区	100,000	金融商品取引業	-	証券投資信託受益証券の募集販売	証券投資信託の代行手数料(注2)	15,348	未払手数料	3,028
						本社ビルの管理	不動産の賃借料(注3)	1,062	長期差入保証金	1,054
同一の親会社をもつ会社	(株)大和総研	東京都江東区	3,898	情報サービス業	-	ソフトウェアの開発・保守	ソフトウェアの購入・保守(注4)	1,065	未払費用	91

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1)上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

(注2)証券投資信託の代行手数料については、証券投資信託の信託約款に定める受益者が負担する信託報酬のうち、当社が受け取る委託者報酬から代理事務に係る手数料として代行手数料を支払います。委託者報酬の配分は、両者協議のうえ合理的に決定しております。

(注3)差入保証金および賃借料については、近隣相場等を勘案し交渉の上、決定しております。

(注4)ソフトウェアの購入については、市場の実勢価格を勘案して、その都度交渉の上、購入価格を決定しております。

2.親会社に関する注記

株式会社大和証券グループ本社(東京証券取引所、名古屋証券取引所に上場)

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1株当たり純資産額	14,784.79円	1株当たり純資産額	16,078.50円
1株当たり当期純利益	3,599.54円	1株当たり当期純利益	4,883.43円

(注1) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(注2) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純利益(百万円)	9,389	12,738
普通株式の期中平均株式数(株)	2,608,525	2,608,525

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

独立監査人の監査報告書

2022年5月23日

大和アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	間瀬	友未
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	深井	康治

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている大和アセットマネジメント株式会社の2021年4月1日から2022年3月31日までの第63期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、大和アセットマネジメント株式会社の2022年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注) 2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2022年8月26日

大和アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	深井 康治
--------------------	-------	-------

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	竹内 知明
--------------------	-------	-------

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているDCダイワ・ターゲットイヤー2040の2021年12月21日から2022年6月20日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、DCダイワ・ターゲットイヤー2040の2022年6月20日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2021年12月21日から2022年6月20日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、大和アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- ・中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

大和アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

(注) 2 . XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。